

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

戦国武将・松永弾正久秀の生き様を描く 今村 翔吾 著 / 『じんかん』



講談社

小説

天正5年のある晩、織田信長のもとへ急報が来た。信長に忠誠を尽くしていたはずの松永久秀が、2度目の謀叛を企てたという。だが、意外にも信長は笑みを浮かべ、語りだしたのは…。民を想い、民を信じ、正義を貫こうとした青年武将はなぜ稀代の悪人となったのか？ 奥行きのある人間ドラマに胸が熱くなる1冊です。

プラスチックのごみについて考える絵本 ミシェル・ロード 作 / 『プラスチックのうみ』



小学館

児童書

人間が出したプラスチックのごみ。それはどのように海を汚し、海に暮らす生き物に影響をおよぼしているのか。きれいな海を取り戻すにはどうしたらいいのか。美しいイラストとともにわかりやすい言葉で伝えています。今すぐ、わたしたちができることを、大人も子どもと一緒に考えていきましょう。読み聞かせにおすすめの1冊です。

世界を正しく読み解く習慣を！

ハンス・ロスリング 著 / 『ファクトフルネス』



日経BP社

一般書

賢い人ほどとられる10の思い込み。そこから解放されれば癒され、世界を正しく見るスキルが身につく。データや事実に基づき、世界を正しく読み解く習慣「ファクトフルネス」を紹介している。自分が思っている世界情勢は、果たして正しいのか？ 様々なメディアで紹介され、大反響を呼びました。多くの事に気付かされる1冊です。

美しい写真とエッセイのレシピ集

有元 葉子 著 / 『この2皿さえあれば、私が食べたい季節の味』



集英社

教養娯楽

2つのメニューさえあれば、たくさん料理を作る必要はありません。「ミントの香りごはん」「きじ焼き丼」など、有元葉子が春から夏に作るお気に入りのレシピを、エピソードとともに紹介。レシピ集としてはもちろんのこと、私物の器やグラスを使った美しい写真と書き下ろしのエッセイは読み応えがあり、心も満たされる1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

龍

野小学校では、子どもたちが図書に親しんでもらう取り組みを進められています。今回は、龍野小の澤村先生のおすすめ図書をご紹介します。

ある日、しゅくだいをわすれたゆうすけくん。「おなかがいなくて…」「お母さんもおなかがいなくて。けさもまだなおってなかったから、朝ごはんとか自分で作らなきゃいけないくて…」と、しどろもどろになりながらすぐばれるうそをつきます。

今月の案内人



澤村 法顕先生
〔龍野小学校〕

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『先生、しゅくだいわすれました』(山本悦子作)

しゅくだいをわすれたゆうすけは、口からでまかせのウソでいいわけ。「ウソをつくらず上手につかなくちゃ」と先生は笑い、次の日から子どもたちはしゅくだいのできなかったわけを考えて発表することに…。

えりこ先生は、「ゆうすけくん、だめだなあ。ウソをつくらずぐばれるようなのはだめだよ。それから聞いた相手が楽しくなるようなのじゃなくちゃ」と言います。

「しゅくだいをやらなくても、上手にウソをつけばいいのか」と考えたゆうすけくんは、翌日、はりきって「先生、しゅくだいわすれました！！」と言います。さてさて、ゆうすけくんは、ど

んなウソを考えたのでしょうか。読んでいて思わず笑ってしまうところが何カ所もありました。ぜひ読んでみてください。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶ 町公民館からのご案内

公民館主催講座の案内と公民館自主講座の再開について

町公民館では、健康や歴史、福祉などの諸問題について講師を招いて学ぶ「町民大学」や町内外の歴史的な文化財や史跡を訪ねる「郷土の歴史を訪ねて」などの主催講座の開催にも取り組んでいます。

町では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町生涯学習センター・ホールなどの公共施設の貸し出しを利用人数の制限や利用者の手指消毒の徹底などを行いながら再開しています。

各講座の活動状況の詳細については、町教育委員会公民館事務局までお尋ねください。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

町公民館自主講座⑥ 「相撲甚句」

健康で豊かな生き方を応援するため町公民館が実施する「公民館自主講座」についてご紹介します。

文化・教養「相撲甚句」講座では、大相撲の巡業などで披露される七五調の囃子歌「相撲甚句」の練習を行っています。



▲そろいの法被で甚句を披露する参加者の皆さん

現在16人が参加しており、名所・旧跡・名物・祝事な

どを七五調でドスコイの合の手と共に歌い上げます。産業文化祭などでステージ発表も行っています。

▼講師 本田剛さん

(上早川一区)

▼開催場所
町民センター

▼開催日時

・第1・3火曜日 午後7時～午後9時

町公民館自主講座⑦ 「短歌」

文化・教養「短歌」講座は、短歌の基礎から応用までを学ぶ講座です。

本講座では、参加者9人が日々の生活の中で感じた季節の風物や情緒、人の心情などを歌に込めて詠んでいます。

作品は、産業文化祭や毎

月の広報こうさ「うたごよみ」コーナーでも発表しています。



▲作品について意見交換や添削を行い短歌の理解を深めます

ご興味のある方は、町社会教育課までご連絡ください。

▼講師 渡辺幸士さん

(山下二区)

▼開催場所
町生涯学習センター・研修室

▼開催日時

・第二月曜日 午後1時30分～午後3時30分

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■甲佐町人権教育推進協議会総会を開催しました

7月8日(水)町生涯学習センターで、令和2年度甲佐町人権教育推進協議会総会が開催され、甲佐町人権教育推進協議会基本方針を示しました。

■甲佐町人権教育推進協議会基本方針(抜粋)

すべての町民が心豊かに暮らすために、お互いの人権を尊重し合い差別のない、明るく住み良い地域づくりを目指す。そのため、同和問題を

人権教育の重要な柱として捉え、あらゆる人権問題の解決のために、さまざまな機会を通して人権意識を培い、差別意識の解消に向けた人権教育を推進する。

本町では、これまでも部落問題をはじめあらゆる差別を解消するための啓発活動に取り組んできているところではあるが、単に人権問題を知識として学ぶだけではなく、身近な日常生活において、互いの人権を尊重する態度や行動を培うことのできる人権感覚を養う必要がある。本年1月に国内で初の新型コロナウイルス感染者が確認され、感染拡大が続

く中、国内において感染者や医療従事者、その家族にまで不当な扱いや差別が発生している状況である。県内でも感染者が確認されており、本町においても起こりうる身近な人権問題として捉える必要があると考える。今後は、町民の日常生活の中での意識や行動に成果が表れるような啓発活動・研修等の工夫を行い、広く住民に浸透させる取り組みを強化させる必要がある。

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)